

19. でんでんタウン にっぽんばしすじししょうてんがい (日本橋筋商店街・オタロード)



◆所在地

浪速区日本橋3丁目～5丁目、難波中2丁目、日本橋西1丁目

◆概要

日本橋一帯に約 500 店の電気・ホビーの専門店が軒を連ねる一大ショッピングストリート。東京秋葉原と並ぶ日本有数の電気街で、最近ではアニメやコミック、ゲームなどのショップも多数進出。外国人観光客も多い国際的スポットでもあり、商店街には日本語・中国語・韓国語のショッピングマップが用意されている。江戸時代には「長町」と呼ばれた古くからの宿場町であり、明治時代には古書店街として賑わっていたが、戦後になって自作のラジオ向けのパーツや工具などを扱う店が現れたことをきっかけに電気街として発展し、現在の「でんでんタウン」に至っている。なお、「でんでんタウン」の名称は、昭和53年(1978年)に一般公募により決定された。毎年3月には「日本橋ストリートフェスタ」が開催され25万人もの来街者があり日本橋の魅力を発信している。

また、堺筋の西の通りは近年、同人誌、コスプレ、フィギュアやおもちゃなどの店が多数出店し賑わう日本橋筋西通商店街で通称「オタロード」と呼ばれている。大型店舗やビル群が軒を連ねる堺筋とはひと味違い、小さな店や雑居ビルが立ち並ぶ通りは、ポップカルチャー好きにはたまらないマニアックなお店がひしめき合い、平日でも多くの人で賑わっている。

20. 御蔵跡履物街 おくらとはきものがい (はきはきタウン)



◆所在地

浪速区日本橋3丁目、日本橋東1丁目、中央区日本橋2丁目

◆概要

約 40 軒の履物問屋が集まり、下町情緒あふれるこの界隈は履物問屋街(はきはきタウン)と呼ばれ、浅草の花川戸と並び全国に知られている。大正初期、北日東町(きたにとうちょう)方面には下駄の職人が多く、毎月21日のお大師の市日にお大師売りを始めたところ割合に売れ行きがよかったので、その頃から小店で製造販売をするところが多くあり、発展したそうである。もちろんこのように集中的に発展したのは御堂筋の履物問屋が道路の建設のため立ち退きとなり、今の地へ移転したことが大きな要素となっている。地元には、はきもの神社(守護神)があり、また、履物会館を有し地域・業界の活性化に大きな役割を果たしている。



21. ひろたじんじゃ 廣田神社



◆所在地

浪速区日本橋西2丁目4番14号

◆概要

もと天王寺の鎮守で今宮村の産土神（うぶすなのかみ）だが創建年代は不詳である。古い由緒を持つとともに江戸時代には廣田の杜といわれ、うっそうとした森のなかに社があった。当時は境内も広く、紅白二種の萩を植えた茶店があり、萩の茶屋と呼ばれていたといわれている。

痔疾をはじめ難病悪疫の守り神として信仰されているアカエ（アカエイ）を神使として信仰されている神社。昔、この周辺は漁師町であった。痔疾は漁師の方々の職業病のようなもの。また叡智の「エイ」に通じると合格・必勝を祈願する参拝者も多くいる。

22. うきにわばし 浮庭橋



◆所在地

浪速区湊町1丁目～西区南堀江1丁目

◆概要

水の都大阪を再生する道頓堀川水辺整備事業の一環として、湊町リバープレイスと南堀江地区を結ぶ新しい人道橋「浮庭橋」が平成20年（2008年）12月20日に開通した。南側の湊町地区と北側の南堀江地区を安全かつ快適に回遊することを目的に、周囲のランドマークとなる本橋の整備を行った。

本橋の特徴は、メインデッキを浮かせるために、主塔とメインデッキをつなげず、2本のメインケーブルにより、斜め45度に河川を横断するメインデッキを吊り、横揺れを防止するために、河川と直交するサブデッキをメインデッキに剛結させている。橋の上には、芝生や低木、両端にシンボルツリーを配置し、緑あふれる「はらっぱ」をイメージしている。また、橋の名前は、一般公募を行い「浮庭橋」に決定した。

浮庭橋は、単に通行するだけの橋ではなく、芝生やベンチなどの「たたずみスペース」を利用し、周辺の風景を眺めながら、都会の真ん中で、ゆっくりと語り合える憩いの場所になることを期待している。

橋長：76.30m

幅員：4.0～6.2m

形式：吊橋

23. みなとまち 湊町リバープレイスと水辺空間 みすへくうかん



◆所在地

浪速区湊町1丁目3番1号

◆概要

湊町リバープレイスは、約1,500人収容のライブハウス「なんばHatch」やfm osaka、カフェ、レストランが入る八角形のフォルムが特徴的な大阪の文化拠点である。道頓堀川遊歩道と隣接したイベントスペース「プラザ」では多彩なイベントが開催されており、なんばHatchと共に音楽を中心とした豊かな文化を日本全国に発信している。構造的にも、阪神高速道路湊町出入口と一体となった点が特徴的である。

敷地面積：17,930 m²、延床面積：21,240 m²、建物：地下2階地上7階、開業：平成14年（2002年）7月。

また、施設の北側の道頓堀川には、湊町船着場があり、水辺遊歩道整備（とんぼりリバーウォーク）の一部を船着場として整備したもので、平成13年（2001年）2月に供用を開始している。湊町船着場から中央公会堂など、大阪ならではの観光名所を落語家のトークとともに楽しめる観光遊覧船などが運航されている。全長約100m。

24. おーきゃっと OCATポンテ広場 ひろば



◆所在地

浪速区湊町1丁目4番1号

◆概要

OCAT 地下1階の入口部は、サンクンガーデン形式のポンテ広場（多目的広場）が設けられ、ライブやダンスなど多彩なイベントを催し、常に人々が集うスポットとなっている。大きなモニュメント「フライングレインボー」は世界への虹の架け橋や飛行機の路線図をイメージしたものである。

25. ^{みなとまち} 湊町 ^{ちゅうおうひろば} 「中央広場」



◆所在地

浪速区湊町2丁目1番、2番

◆概要

湊町地区には、平成8年(1996年)に開業した大阪シティエアターミナルビル(OCAT)を中核施設として、商業施設・オフィス・文化施設・住宅など様々な施設が立地している。

中央広場は、湊町地区の居住空間が集まったエリアの中央部に位置し、石畳の遊歩道や木製デッキを備えた緑豊かな広場で、イベント等にも利用されている。米ニューヨークのセントラルパークをイメージしており、クスノキやアラカシなど樹木や草花が多数植えられている。

[面積]約6,000㎡

26. ^{すいりゅうじ} 瑞龍寺 ^{てつげんじ} (鉄眼寺)



◆所在地

浪速区元町1丁目10番30号

◆概要

黄檗宗萬福寺末寺(おうばくしゅうまんぷくじまつじ)で薬師三尊を本尊としており、もとは難波村の薬師堂だったが、江戸初期に黄檗宗の僧鉄眼和尚が再興した。鉄眼和尚は、わが国に一切経の版木がないのを嘆き、全国行脚募財の末、一切経の木版6956巻32万頁を完成させた。その間洪水と飢饉に苦しむ人々を救うため、一切経の募財を救済に投じ、三度目に目的を遂げ「鉄眼は一生に三度一切経を刊行せり」といわれ、その徳の高さから一般に鉄眼寺といわれている。

27. なんば やさかじんじや ししでん 難波八阪神社 獅子殿



◆所在地

浪速区元町2丁目9番19号

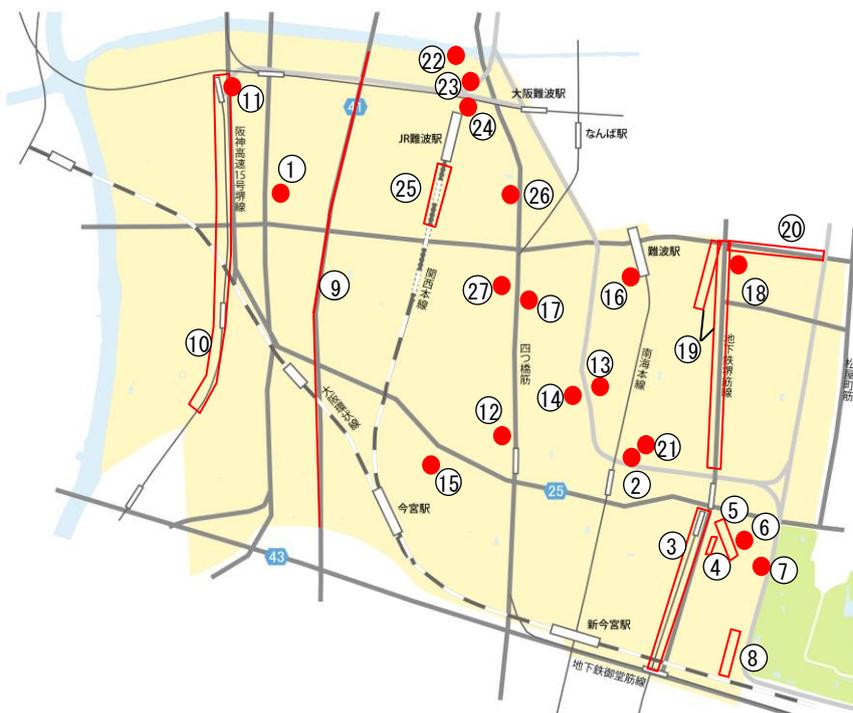
◆概要

高さは12m、奥行き7m、幅7m。昭和49年（1974年）本殿竣工と共に完成した。

内部神殿には 御祭神素盞鳴尊（すさののみこと）の荒魂を祀る。折腰格天井にはめ込まれている鳳凰の彫刻は、全て手彫りでその意匠が異なっている。又目はライト、鼻はスピーカーの役割を果たしている。

お正月には、神楽・居合道など、夏祭りには、獅子舞・民踊等各種芸能が奉納される。近年は、大きな口で勝利を呼び、邪気を飲み勝運（商運）を招くと、学業向上、就職、入試あるいは、会社発展を祈願するために、全国各地から参拝客が訪れる。

浪速区の都市景観資源（分布図）



- ① 赤手拭稲荷神社
- ② 今宮戎神社
- ③ 阪堺線（浪速区）
- ④ 新世界市場
- ⑤ 通天閣本通商店会
- ⑥ ギャラリー再会
- ⑦ 新世界国際劇場
- ⑧ ジャンジャン横丁
- ⑨ なにわ筋のいちょう並木（浪速区）
- ⑩ 南海電鉄高野線（浪速区）
- ⑪ 新桜川ビル
- ⑫ 敷津松之宮・大國主神社
- ⑬ Zepp Namba (OSAKA)
- ⑭ 大阪木津卸売市場
- ⑮ 願泉寺
- ⑯ パークスガーデン
- ⑰ 日本工芸館
- ⑱ 高島屋東別館
- ⑲ でんでんタウン
（日本橋筋商店街・オタロード）
- ⑳ 御蔵跡履物街（はきはきタウン）
- ㉑ 廣田神社
- ㉒ 浮庭橋
- ㉓ 湊町リバープレイスと水辺空間
- ㉔ OCAT ポンテ広場
- ㉕ 湊町「中央広場」
- ㉖ 瑞龍寺（鉄眼寺）
- ㉗ 難波八阪神社 獅子殿

■都市景観資源とは…

地域のみなさんに親しまれ、地域の景観を特徴づけている建造物、橋梁、樹木などの資源を、大阪市都市景観条例に基づき登録するものです。広く市民の皆さんに知ってもらい、地域の景観に関心を持ってもらうことにより、地域の特性を生かした景観づくりを進めていこうとするものです。

■大阪市都市景観条例(平成 10 年大阪市条例第 50 号)

大阪地域の景観の向上及び地域の特性を生かした都市景観の形成を目的として、その実現に向けて必要な基本事項を定めた条例です。市民や事業者のみなさんに都市景観への関心をより高めていただき、魅力的な都市景観をつくっていくことをめざしています。

都市景観資源紹介 HP

<http://www.city.osaka.lg.jp/toshikeikaku/page/0000017850.html>

お問い合わせ先 大阪市都市計画局 計画部 都市計画課（都市景観）
〒530-8201 大阪市北区中之島 1-3-20（市庁舎 7 階）
電話 06（6208）7885